

協働パイロット事業 (H24) 企画提案書

団体名： サークル OPPO

1. 事業の名称

野良猫を減らし、猫の殺処分を無くすことをめざして、地域住民(自治会)の皆さんと共に TNR 活動及び地域猫活動を実施・推進させる事業
(略称・野良猫の「TNR 活動」及び「地域猫活動」推進事業)

2. 事業方針 (市民ニーズや協働で取り組む意義を踏まえてください)

静岡市内では毎年、飼育放棄された猫や野良猫が約1500頭もガスにより殺処分され、さらに交通事故等による路上死が3000頭もあり、年間4500頭の猫たちの命が奪われています。

このような猫は飼い主に捨てられ繁殖した野良猫や飼い主が避妊・去勢手術(以下・手術)をしないために生まれた子猫と外飼いの飼い猫たちです。

このような野良猫や猫の外飼いに依る庭・畑荒らし、糞尿、鳴き声及び無責任な餌やり等により近隣住民間で深刻なトラブルになっている地域があります。

この問題を解決する方法は、飼い主が猫に手術を行い、室内で飼育する、猫を捨てさせないことを指導することと、野良猫の手術を行う「TNR 活動(捕獲して、不妊手術、元の場所に放す)」を推進し、これ以上は野良猫を増やさず減らすことが必要です。

さらに、手術した野良猫を地域の公園や空き地で住民(自治会)と地域のボランティアが主体となって持続的に餌やり、糞尿の始末などの管理を行い、一代限りの命を見守る「地域猫活動」を行うことが最も適切な方法で全国的に取り組みが進められています。なお、野良猫の生存期間は一般的に4～5年程度といわれていますので新たな捨て猫がなければ野良猫は居なくなることとなります。

以上のような、TNR 活動及び地域猫活動を自治会、地域のボランティアが主体的に実施できるように指導・援助を行政と協働で行うことによって地域の猫トラブルを解消し、猫の殺処分を無くして住みよい地域とすることができます。

現在、静岡市が年間740万円を静岡市獣医師会に交付して行っている野良猫だけを対象とした「猫不妊手術事業補助金交付制度」は野良猫を増やさないために一定の効果があると思われます。しかし、野良猫を減らし、殺処分を無くすことはできない税金の使い方だと思えます。

私たちが提案する「TNR 活動及び地域猫活動推進事業」を「一定期間」、継続的に実施すれば静岡市で猫によるトラブルを無くし、無責任な人間によって生まれた罪のない猫たちを殺処分することも無くなり、「人と猫が穏やかに暮らせる住みよい静岡市」にすることができると思えます。

今までのような市民の善意による TNR 活動、地域猫活動は限界となっていて、問題は改善されず増々深刻な事態となると思われます。速やかな本格的協働事業が実施できることを切望します。

参考

「動物の愛護及び管理に関する法律」では動物を遺棄・虐待することは1年以下の懲役又は100万円以下の罰金となる犯罪です。行政職員であっても保護を目的とせず、野良猫を捕獲して他の場所に放したり、殺処分することは禁じられています。

このため、現状では TNR 活動及び地域猫活動が野良猫問題を解決する唯一の方法です。

3. 協働にあたって提案団体が果たす役割及び行政に望むこと

提案団体が果たす役割

この事業は地域の自治会やボランティアが主体的に持続した活動ができるようにすることが最も重要であり、そのために申請団体は事業の企画、協力・援助を行います。しかし、地域の状況により実施が困難な課題に対しては地域自治会及びボランティアと話し合い事業を進めます。

- ① 行政が当該自治会で開催する説明会等で TNR 活動及び地域猫活動を行う意義・役割と方法などについて必要な説明・協力等を行います。
- ② 地域の猫の飼い主等に配布する「適切な猫の飼い方」などの文書作成に協力します。
- ③ 手術のための猫捕獲方法の指導と協力をします。
- ④ 手術のため猫を動物病院に搬送することを地域ボランティアに協力して行います。
- ⑤ 地域猫活動を地域ボランティアが継続的に実施できるように行政とともに指導・援助を行います。

行政に望むこと

この事業は行政と申請団体だけの協働ではなく事業実施地域の自治会及びボランティアの皆さんが参加する「3者の協働」とすることが成否を分けるポイントとなります。そのために地元自治会に対する事業実施要請や説明会開催には行政(動物指導センター等)の積極的な取り組みが求められます。

申請団体だけで地域住民に説明会の参加要請や「飼い猫の適切な飼い方」等の文書配布を行っても住民の協力を得ることは困難だと思います。

- ① 住民及び自治会に対して「TNR 活動及び地域猫事業」の趣旨説明と協力の要請および「TNR 活動」及び「地域猫活動」が自主的、持続的に地域で出来るように必要な説明会等を開催してください。
- ② 住民に対して「TNR 活動及び地域猫事業」及び「飼い猫の適切な飼い方(捨てない、手術する、室内で飼育する)」等の広報を行ってください。
- ③ 公園などで地域猫活動を行う場合には関係部局との調整をお願いします。
- ④ パイロット事業を実施した翌年以降も当該地域の現況把握や必要な指導・援助を行ってください。また、地域猫活動が継続的に出来るようにボランティア募集・育成と餌代や手術代等の経費補助を検討してください。

4. 成果目標 (できる限り具体的に表現してください)

- ① 指定した地域の公園等の野良猫に不妊手術(TNR 活動)を行い、新たな野良猫を増やさず減らすことをめざします。
- ② 指定した地域の、猫の飼い主に対して、今後は「適切な飼い方」ができるように指導します。
- ③ 当該地域に猫を捨てさせない措置・対策をめざします。(看板設置、監視)
- ④ 野良猫に対する「無責任な餌やり」を止めさせ、地域で適切な飼育管理をします。(地域猫活動)
- ⑤ 猫のトラブルを無くし、住民と猫が穏やかに暮らせる地域となることをめざします。
- ⑥ 事業実施によって「猫不妊手術事業補助金交付制度」の問題点を整理し、より良い制度に改善し税金の効率的で適正な使用方法について検討します。

この事業は行政、申請団体及び地域自治会(住民)の3者が協働で行う事業のために目標達成の度合いは3者の事業に対する理解と協力、努力によって決まると思われます。

5. 事業計画

- ① 「TNR 活動及び地域猫事業」の実施地域の調査・検討を行い、自治会に協力要請(説明)して実施地域を確定します。
- ② 住民に対する事業の説明会等を行政と共に開催し、理解と協力を要請します。
- ③ 当該地域の猫の飼い主に対して「適切な飼い方」の講習会等を開催するとともに「野良猫捕獲期間」に飼い猫を屋外に出さない、首輪等の目印を装着することを要請します。
- ④ 事業の実施要項を地域に広報等で知らせます。
- ⑤ TNR 活動及び地域猫活動の協力ボランティアを募集します。
- ⑥ 地域猫活動の準備を行います。(餌場と糞尿場所を設置、餌代や費用及び要員の確保)
- ⑦ 捕獲器を設置し、手術を実施します。
- ⑧ 地域猫活動が地域の自治会及びボランティアが主体的に持続してできるように具体的な指導・援助をします。

6. スケジュール

- | | |
|----------|--|
| 5月から7月中旬 | 「TNR 活動及び地域猫事業」の実施地域の実態調査を行い検討します。 |
| 7月中旬 | 自治会に協力要請(説明)を行い、実施地域を確定します。 |
| 8月初旬 | 住民に事業の説明会を開催し、理解と協力を要請します。
実態を把握するためにアンケート調査など行います。
当該地域の猫の飼い主に対して「適切な飼い方」の講習と協力(室内飼育、目印)を要請します。 |
| 9月初旬 | 「TNR 活動及び地域猫事業」の実施要項を地域に広報等で知らせます。
TNR 活動及び地域猫活動の協力ボランティアを募集します。 |
| 10月初旬 | 地域猫活動の準備を行います。(餌場と糞尿場所を設置、餌代や費用及び要員の確保) |
| 10月中旬 | 捕獲器を設置し、手術を実施します。
地域猫活動を地域のボランティアと共に始めます。 |
| 11月上旬 | 捨て猫禁止の看板設置と監視体制の確立及び地域猫活動実施地域の表示を行う。(無責任な餌やりを禁止する。) |
| 11月中旬 | 感想アンケートを実施 |
| 11月下旬 | 報告会を開催し今後の運営を地元中心で行えるように要請する。 |
| 2月中旬 | 報告書提出 |

7 実施体制および主要スタッフの経歴

TNR 活動及び地域猫活動の実施体制

責任者	望月あけみ	サークル OPPO 代表者、静岡市地域猫運動連絡会代表者
副責任者	山田由美	サークル OPPO 役員およびグループねこさと SHIZUOKA 代表者、静岡市地域猫運動連絡会副代表者
事務局長	小泉 勇	飼い主のいない猫を増やさない静岡市の会、静岡市地域猫運動連絡会
委員	太田幸子	サークル OPPO 役員
委員	栗田典子	サークル OPPO 役員
委員	荒井博子	飼い主のいない猫を増やさない静岡市の会代表者、静岡市地域猫運動連絡会
委員	原 真弓	飼い主のいない猫を増やさない静岡市の会、静岡市地域猫運動連絡会
委員	池ヶ谷孝子	グループねこさと SHIZUOKA、静岡市地域猫運動連絡会
委員	鈴木真奈美	グループねこさと SHIZUOKA、静岡市地域猫運動連絡会

8 特にアピールしたいこと（専門性、独自性、先駆性、実績など）

- ① 静岡市内の公園や空き地の野良猫に対して TNR 活動及び地域猫活動を 14 年前からすでに実施し、地域や市民の猫トラブルの改善のために相談や協力をしてきました。
- ② 市内の多くの公園などで TNR 活動が行われ野良猫の不妊手術がほとんど実施された所もあります。しかし、無責任な新たな捨て猫により完全に終わることができていません。
- ③ 多くの猫を「飼育」していた市民が飼育できなくなり、放棄された猫を保護して、手術を行って飼い主を探す活動等を行ってきました。（生活苦、施設入所、病院入院などによる事例が多発）
- ④ ブログなどにより猫問題の相談、援助は日常的に会員が行っています。
- ⑤ 昨年の避妊去勢手術頭数は約 140 頭でした。
- ⑥ 昨年、野良猫の里親を探すため「譲渡会」などを開催し 150 頭の猫たちに新たな飼い主を見つけました。
- ⑦ 東日本大震災の被災動物の救援運動に協力しました。
- ⑧ 平成 24 年 4 月にまとめられた「人と猫が穏やかに暮らすためのガイドライン(案)」の作成に静岡市動物指導センター及び静岡市獣医師会と共に積極的な役割を果たしました。

協働パイロット事業 (H24) 見積書

団体名： サークルOPPO

企画のタイトル：

野良猫を減らし、猫の殺処分を無くすことをめざして、地域住民(自治会)の皆さんと共に TNR 活動及び地域猫活動を実施・推進させる事業
(略称・野良猫の「TNR 活動」及び「地域猫活動」推進事業)

項目	金額	説明
避妊・去勢手術費用	122,000	13 頭(避妊 1 万円×9、去勢 8 千円×4)
餌代	85,500	1 日 500 円×30 日×6 月
地域猫活動用の施設資材費	20,000	収納庫及び餌場、糞尿場など設置費用
看板設置費用	10,000	地域猫活動実施、捨て猫禁止の掲示板
小計 A	237,500	
消費税 B = A × 0.05	11,875	
合計 A + B	249,375	

◎実費弁償契約の希望の有無 有 無

※ 参加費の徴収、物品の販売、提案団体の自己負担等、委託料以外の財源がある場合

収入見込み額	金額	主な用途
提案団体負担等	55,000	広報及び資料印刷代 20,000 円 捕獲、搬送費用 25,000 円 事務費及び雑費 10,000 円

企画提案の概要書

提案団体名	サークルOPPO
企画案のタイトル	野良猫を減らし、殺処分を無くすことをめざして、地域住民(自治会)の皆さんと共に「TNR(野良猫を捕獲、不妊手術、元の場所に放す)活動」及び「地域猫活動(不妊手術した猫を地域で飼育する)」を実施・推進させる事業 (略称・野良猫の「TNR活動」及び「地域猫活動」推進事業)
提案の要旨 (企画提案書の概要を400字以内でご記入ください。)	<p>静岡市では飼育放棄された猫や野良猫がガスで殺処分され、交通事故等によって路上死する猫を合わせると年間4500頭の猫たちの命が奪われています。</p> <p>また、野良猫や飼い猫の外飼いによる庭・畑荒らし、糞尿、鳴き声と無責任な餌やり等により、地域や公園では近隣住民間のトラブルとなっています。</p> <p>この猫問題を解決する方法は、飼い主が猫に不妊手術を行い、室内で飼育する、猫を捨てさせない指導をすることと、野良猫に対して不妊手術をする「TNR(捕獲、手術、放す)活動」を推進し、これ以上、野良猫を増やさず減らすことが必要です。</p> <p>手術して繁殖しない一代限りの野良猫を地域の公園等で自治会と地域のボランティアが協力して餌やり、糞尿の始末等の管理をする地域猫活動及びTNR活動を持続的に実施できるように指導・援助を行政と共に行う事業です。</p>
金額	249,375円

《注意事項》

ホームページでの公開資料です。以下のことに注意してください。

- ・ 丸数字などの特殊記号は使わないようにしてください。
- ・ 図やイラスト、写真、動画、スライド等は掲載できません。
- ・ htmlで表現できない複雑な表現方法をご利用できません。